

事業所名	グループホーム 小鳥の森の家 ※
日付	平成19年6月20日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士
自主評価結果を見る	自主評価結果を見る
評価項目の内容を見る	評価項目の内容を見る
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります) ※	事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります) ※

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	「ふしくれし このてが我を この国を 靖国にもまして 尊きを思う」 「握る手の 来し方までもがいとおしく 残る日々こそ守らんと」 入居者の今までの生活歴・習慣を大切にしながら今までの同スタイルで生活できるよう支援し、精神的安定を図っている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	職員各自が自分の親を見守っているような気持ちで対応している。親しき仲にも礼儀ありで、尊敬の念を持って言葉遣いは守っている。「毎日を何度も抱き合う私たち あなたの介護しているおかげ」		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

<p>職評</p> <p>全体を通して (特に良いと思われる点など)</p> <p>三徳園と小鳥の森の緑いっばいの中、小鳥のさえずりに耳を傾け、日々が森林浴のような穏やかな生活。季節の流れを肌で感じる事のできる環境、風景を眺め、入居者、訪問来客者等、介護従事者の心の温もりが自然に染み込んだ支援ホーム(家)です。</p> <p>「世代から世代への思いを、かたちにしようと思い」「私たちの親の世代、戦後の荒廃のなかから働いて働いて私達を育て、今日の日本を築いてくれました。本当にありがとうございますという思いを込めて、老後を幸せに送って欲しい、、、、。」</p> <p>「私の家に父母を引き取る、叔父も叔母もお友達のお父さんもお母さんも引き取る。それを私一人では見れないから友達に手伝って貰う。父、母を私の家に引き取るつもりで作った家。娘の家。私の思い。」代表者自身が設計の時点より熱意と熱意が厚く重なる思いが今現在も伝わってきます。</p> <p>スタッフ全員サービス提供の質向上に取組み、擬似家族かもしれませんが、家族として暮らし始め人生を幸せに色を塗り替えることの想いをひとつに、研修、自己研鑽、チーム会議等取り組んでいる姿勢が伺えます。</p> <p>地域交流において、一軒の家として近所の方から沢山収穫された野菜(食材は季節感そのものである)、庭先の咲いた花等、気軽に声掛けられて頂いたり持参して頂く、中学生生徒さんと担当先生の打ち合わせ、一緒に行事に参加する入居者の笑顔の様子が浮かぶようでした。</p> <p>職員全員横一列です。指示命令系統はなく、「偉そうにするな」「人の足らんとところを攻めるな。足らんとところを足せ」</p> <p>「ひとりひとりのこころ」職員が自分の能力を最大限に引き出しながら地域高齢者にとって温かい信頼関係が作られています。</p> <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>特にありません。</p>

III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	当ホーム(家)は、個性ある職員に恵まれてそれぞれ得意分野で活躍している。(利用者さんにも同じことが言えます。(歌づくり・手仕事・洋裁・本読み・編み物・歌う))		
	各々、他の職員の非難はない。「できることをする」をモットーとしている。		
	利用者さんが遠慮なく心のうちを明かせるべく、悩み事など聞いて個人的に対応している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	利用者さんが遠慮なく心のうちを明かせるべく、悩み事など聞いて個人的に対応している。		